

福岡市地下水汚染対策委員会議事録

平成20年6月3日(火) 15:30～
市役所15階第2会議室

委員長の選任

井上委員長，島田副委員長に決定

議題協議

「平成19年度に判明した地下水汚染について」

(1) 東区青葉 水銀汚染

【委員の主な意見】

(この地域は)基盤が花崗岩で，上に薄く第三紀層が乗っている場所であり，水銀蒸気が上がってきているこれまでと似たような事例と考えても良い。
イオンバランスが悪く，他の陽イオンの存在の可能性もある。
表層水，特に雨水の混入の可能性もある。
水銀蒸気の使用も確認されており，これまで同様，自然由来による汚染と考えても良い。

(2) 東区上和白，下原 硝酸性・亜硝酸性窒素汚染

【委員の主な意見】

道路盛土の斜面吹きつけ材の影響，園芸店の施肥，養鶏場，ゴルフ場などが汚染源と思われる。
水田は還元状態のため，脱窒されており窒素供給源ではない。
窒素汚染は今後も続く。
汚染源が多いため，人為的汚染とは思われるが特定は困難である。

(3) 博多区東比恵・上牟田，東光 ふっ素汚染

【委員の主な意見】

イオン性状から停滞性深層地下水であり，pHが高いことから花崗岩由来のふっ素が溶出した自然的原因によるものと考えられる。

(4) 西区太郎丸 ふっ素汚染

【委員の主な意見】

他に汚染源もなく，ほう素も同時に検出しているのであれば，海水の影響による自然原因による汚染と考えてもよい。